

1. 地域経済と課題

- (1) 街が変貌しています。解体 5 話、①辻薬店隣接 2 棟が更地に。②町田川河口の X0, OZ が解体途中、③坊主町のもりもと病院が 7 月までに解体、④外町レディースクリニックが解体中、⑤旧コアスポーツが解体着手。閉店 2 話、⑤ボウリング場が 3 月末閉店、⑥ヤマダ電機が今月閉店。跡地利用、後継店舗が注目される。
- (2) 早稲田佐賀中高が開校 15 年目を迎えた。あらためて経済効果を試算してみる。
学校の概要：定員中 360 人、高 720 人、教職員 95 名（市内在住 55 名）、入寮生 692 名。
経済効果：①学校事業 12 億円＋寮事業 1.4 億円、②保護者来唐、寮生消費等 0.9 億円で計 14.3 億円
財政効果：寮生等による地方交付税の増額 79 百万円（一人当たり 10.6 万円）
これが毎年続く。経済以外の効果にも注目する必要がある。早稲田大学への推薦枠が 50%から 60%へ増える。
- (3) 日銀が 3 月 19 日、17 年ぶり利上げ、11 年ぶり異次元緩和を終了。翌日の新聞から数話、①連合の今春闘 1 次集計 5.12%の賃上げ、②23 年通年のインフレ率 3.1%(41 年ぶりの高い伸び)、「遺産」も、③本業の利益では借金の利払いができない「ゾンビ企業」が 13 年以降 2 割増え約 25 万社、④住宅ローン残高 215 兆円（22 年度、バブル期の 2 倍）、⑤日銀は国債発行残高の半分の 600 兆円、上場投資信託（ETF）を 70 兆円保有。ソフトランディングへの道のりを注視していく必要がある。

2. 経営相談(巡回・窓口)から見える地域経済と課題

- (1) 令和 5 年度第 4 四半期(令和 6 年 1~3 月)は、巡回 435 件・窓口 636 件の経営支援を行った。原材料等高騰や人件費上昇の影響により、個人事業主の申告決算の状況は依然厳しい。
- (2) 令和 5 年度経営支援の総計は、巡回 1,502 件・窓口 2,378 件を実施。巡回支援数は年度目標を達成できた。前述のとおり、個人事業主の申告決算は厳しい状況にあり、上昇する原価等を適正に転嫁していく経営努力が必要であると思われ、令和 6 年度は、生産性向上や価格転嫁を意識した経営支援を実施していきたい。

3. LOBO 調査(早期景気観測)&中小企業景況調査

(1) LOBO 調査【令和 6 年 4 月調査】

業況 DI は、一層のコスト増と消費停滞で、悪化。先行きは、消費拡大等による改善への期待高まる。

- ・全産業合計の業況 DI は、▲14.0（前月比▲1.1 ポイント）

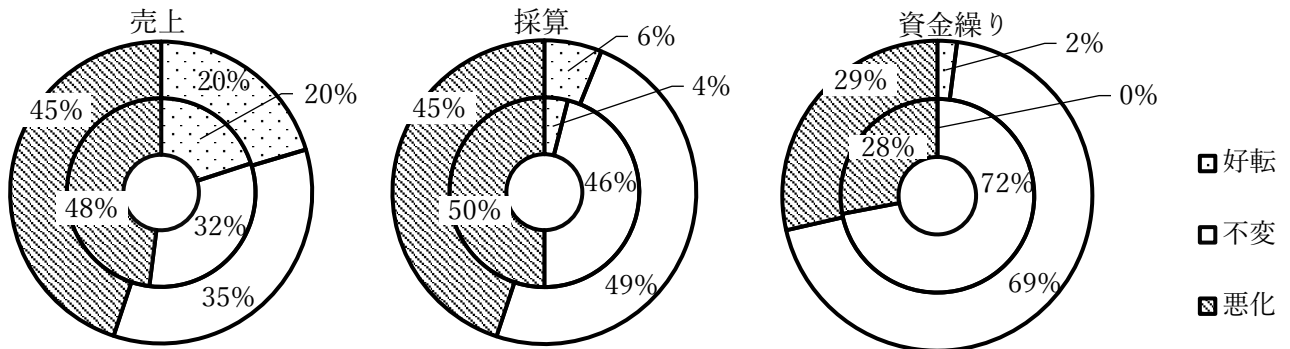
全国：製造業は、輸入部材の高騰や企業の設備投資の足踏み等で悪化した。建設業も、資材価格の高騰や人手不足による受注機会の損失でほぼ横ばいとどまった。また、卸売業は、飲食・宿泊関連からの引き合いが増加するも、物流費の高騰などのコスト増で弱含んでいる。小売業・サービス業は、国内外の観光需要の増加や、歓送迎会などの季節需要の恩恵を受けて改善を示すも、力強さを欠いている。歴史的な円安基調や深刻な人手不足への対応、働き方改革関連法の施行に伴う輸送費の上昇や、賃上げ等によるコスト増が足かせとなっている。コスト増に見合う労務費を含む価格転嫁も追い付かず、業況は再び悪化に転じた。

九州：業況 DI は悪化。卸売業では、民間工事の需要が低迷している建設業からの引き合い減少を受け、売上・採算が悪化した。農産物の卸売業者からは、物流 2024 年問題に伴うドライバーの時間外労働の規制により配送時間が長期化することで、商品の鮮度が低下し、遠方地域の消費者離れが生じることを懸念する声も聞かれた。サービス業では、消費者の節約志向の高まりにより、飲食店や生活関連サービスなどで、売上・採算が悪化した。

(2) 中小企業景況調査【令和6(2024)年1月～3月調査】

円グラフの外側：前年同期（2023年1～3月）と比べた今期（2024年1～3月）の状況

内側：前々年同期（2022年1～3月）と比べた前年同期（2023年1～3月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：需要の停滞	小売業：仕入単価の上昇、需要の停滞
サービス業：材料等仕入単価の上昇	建設業：従業員の確保難
	卸売業：仕入単価の上昇

4. 唐津の街のトピックス

- (1) (一社) InnoDrops が設立された。「今ある認識の枠を超えて 私たちの半径を広げる」を目的をしている。団体名は「**Innovation**(革新)」と「**Drops** (雫)」による造語。込められた想いを応援していきたい。
- (2) 呉服町に「祇園ござこん」が「餃子バー唐津ござこん」として出店される。なんでも母親が唐津出身の慶應元年創業の老舗企業「村田金箔」の社長さんが唐津くんちの曳山をひきたいと京都の料亭と組まれての出店とのこと。
- (3) 「建築ジャーナル3月号」は「ミニシアターの可能性」を特集。「日本で製作されている映画の6割はミニシアターでしか上映されていない」と、ミニシアターが映画の多様性を支えている。シアターエンヤも取り上げられ、いきいき唐津の甲斐田専務も「文化のインフラストラクチャーとしてのミニシアター」を寄稿。
- (4) 澤田健太さん（唐津居住歴3年余）が大手広告会社を50歳にして退職。東京・恵比寿に「バーpotsunto」を開店予定。メールには「恵比寿像 No.1 の佐賀と生まれ育った渋谷・恵比寿をつなげたい」とある。SUP 仲間で唐津のアンテナショップの意味を持たせたい。
- (5) 徳島県の「神山まるごと高等専門学校」に”STEAM 教育“を学んだ唐津の中学生が合格した。昨年の倍率は9倍。同校はSTEAMの理念と似て、デザインとテクノロジー、起業家精神を学ぶカリキュラムがある。もと起業家が民間から100億円集めて、昨年開校。実質授業料は無料とある。
- (6) 唐津駅の「みどりの窓口」が4月1日から、7時30分～19時まで開くようになった。観光唐津の玄関口であるので当然のこととは言え、喜ばしいことである。
- (7) 「2024 森ガキ組新作映画企画」の撮影が進んでいる。タイトル、キャストは未公表。ポニーキャニオンが製作幹事、ホリプロが共同制作。全国100館以上で公開予定。唐津は『花筐』を制作した経験を活かせる。
- (8) テレQの人気番組「世界！ニッポンに行きたい人応援団3時間半」（3月25日）でささき農園の牛蒡と由紀子窯の唐津焼が紹介されていた。まさに唐津の「食と器」の魅力をアピールしてくれた番組であった。
- (9) 福岡のお医者さんが、本年8月頃に唐津に開業される。どうして唐津を選ばれたかを聞くと、福岡との近接性、地価の適切さに加え、唐津の海や虹の松原のすばらしさにご夫婦（奥さまは沖縄出身だというのに）とも心を奪われたとのこと。唐津の自然が移住者を魅了し、呼び寄せている。

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報Eクォーター』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。 唐津商工会議所 TEL：72-5141 FAX：72-5146 Email：kcci@karatsu.or.jp